SHOWA fine various reagents

化学物質等安全データシート

1.化学物質及び会社情報

昭　和　化　学　株　式　会　社
東京都中央区日本橋本町４－３－８
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡　　同　上
改訂　平成21年2月10日

化学物質等のコード　：　1800-2750

化学物質等の名称　　：　ラネーコバルト

2.危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：　本品に関するデータが不足しているため、ＧＨＳ分類できない。
現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

ラベル要素：　該当なし
（絵表示又はシンボル）

注意喚起語：　該当なし

危険有害性情報：
・最重要危害性：該当なし（旧分類基準：該当なし）
・有害性：　眼に入ると、刺激、痛み、炎症のおそれがある。
吸入した時、鼻、のど等の気道を刺激し、飲み込んだ場合、嘔吐、腹痛、下痢を起こし有害のおそれがある。
皮膚に付いた場合、刺激、炎症のおそれがある。
コバルト化合物として発がん性が疑われる。
本製品は、危険性を防止するため水に浸してあるが、この水は強アルカリ性で、皮膚や粘膜を腐食する。
・環境影響：　データなし
・物理的及び化学的危険性：
乾燥し空気に触れると、発熱、発火することがある。
金属触媒として使用されるので、有機物との混触で発火等の危険性を有する。
火災等で熱分解すると、有害なコバルト化合物を生成する。

注意書き
【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護面、保護衣を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【救急処置】
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚刺激又は眼刺激が続く時、ばく露又はその懸念がある時は、医師の診断、手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い涼しい場所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物（コバルト、アルミニウム）
化学名　：ラネーコバルト
（英名）Raney cobalt

成分及び含有量　　：ラネーコバルト、 48.0～51.0%（コバルトとして）
化学式又は構造式　　：Co
分子量　　：58.93
官報公示整理番号　化審法　：設定されていない。
　　安衛法　：設定されていない。
ＣＡＳ　Ｎｏ.　　：登録されていない。
危険有害成分　　：ニッケル

4. 応急措置

吸入した場合：　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：　直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと又は取り去ること。
皮膚を速やかに石鹸と水で洗浄すること。
皮膚刺激、発疹が生じた時は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合：　直ちに医師に連絡すること。
水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：　直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
多量の水を飲ませ吐かせること。
意識がない時は無理に吐かせないこと。
医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

5.火災時の措置

消火剤　：　小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水
大火災：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
特有の危険有害性　：　火災によって刺激性、有害なガス、ヒュームを発生するおそれがある。
特有の消火方法　：　危険でなければ火災区域から容器を移動する。
風上より消火し、環境へ流出しないよう漏洩防止処置を施す。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護　：　消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項　：　河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。
回収、中和　：　こぼれた物質を密閉式容器に掃き入れ、安全な場所に移す。
後で、廃棄処理する。
後処理として、漏洩場所は大量の水で洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：
危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策　：　排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い
技術的対策　：　『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：　『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項：　使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
眼、皮膚との接触を避けること。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
接触回避　：　『１０．安定性及び反応性』を参照。
保管
技術的対策　：　保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び

換気の設備を設ける。
保管条件　：本製品は、発熱、発火の危険性を防止するため、水に浸してある。
容器を密閉して冷暗所に保管すること。
施錠して保管すること。
直射日光を避けて保管すること。
空気との接触を避けること。
有機物との混触を避けて保管すること。
混触危険物質　：『１０．安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料　：ガラスなど

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度　：未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：
日本産衛学会（2007年版）　0.05mg/m3（コバルトとして）
ACGIH（2007年版）　TLV-TWA 0.02mg/m3（コバルトとして）
設備対策　：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には手洗い器、洗眼器、安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　：換気が不十分な場合は、呼吸保護具（防塵マスク）を着用すること。
手の保護具　：保護手袋を着用すること。
眼の保護具　：眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣を着用すること。
必要に応じて顔面用の保護具、保護長靴を着用すること。
衛生対策　：取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：黒色ペースト状粉末
臭い　：データなし
pH　：アルカリ性（水分散液）
融点・凝固点　：データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし
引火点　：データなし
爆発範囲　：データなし
蒸気圧　：データなし
蒸気密度（空気 = 1）　：データなし
比重（密度）　：データなし
溶解度　：水に溶けない。
オクタノール/水分配係数　：データなし
自然発火温度　：データなし
分解温度　：データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）：データなし
粘度　：データなし

10.安定性及び反応性

安定性　：水中下では通常の取扱いで安定である。
危険有害反応可能性　：データなし
避けるべき条件　：熱、日光、乾燥空気
混触危険物質　：有機物
危険有害な分解生成物：コバルト化合物

11.有害性情報

急性毒性　：経口 データなし
飲み込むと嘔吐、腹痛、下痢等の症状が現れることがある。
吸入すると、鼻、のど等の気道が刺激されるおそれがある。
経皮 データなし
皮膚腐食性・刺激性：皮膚に付着すると刺激、炎症のおそれがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：眼に入ると、刺激、痛み、炎症のおそれがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性：情報なし
皮膚感作性：情報なし
生殖細胞変異原性　：知見なし
発がん性　：コバルト化合物は、発がん性が疑われている。IARC、グループ2B、ヒトに対して発がん性がある可能性がある。ACGIH、A3、動物発がん性物質に分類。
生殖毒性　：データなし
特定標的臓器・全身毒性
（単回ばく露）　：データなし
特定標的臓器・全身毒性
（反復ばく露）　：データなし
吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 情報なし
水生環境慢性有害性： 情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 ： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
（参考）固化隔離法
セメントで固化し埋立て処分する。

汚染容器及び包装 ： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国内規制
陸上規制情報 該当なし
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
国連番号 ： 1378
品名 ： 金属触媒（湿性のもの）
クラス ： 4.2（自然発火性物質）
容器等級 ： II
海洋汚染物質 ： 非該当
航空規制情報 航空法の規定に従う。
国連番号 ： 1378
品名 ： 金属触媒（湿性のもの）
クラス ： 4.2
等級 ： II

特別の安全対策 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードの保持が必要。

15.適用法令

労働安全衛生法 ： 名称等を通知すべき有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）（政令番号 第172号「コバルト及びその化合物」）

化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）：
平成22年3月31日までのＰＲＴＲ制度
・種 別 第１種指定化学物質
・政令番号 「第100号」
・物質名称 「コバルト及びその化合物」

＜改正ＰＲＴＲ法＞
平成22年4月1日施行の新ＰＲＴＲ制度
・種 別 第1種指定化学物質 （変更なし）
・政令番号 「第132号」 （変更あり）
・物質名称 「コバルト及びその化合物）」（変更なし）

なお、新ＭＳＤＳ制度は平成21年10月1日から施行。

毒物及び劇物取締法 ： 非該当
消防法 ： 非該当
船舶安全法 ： 可燃性物質類・自然発火性物質
航空法 ： 可燃性物質類・自然発火性物質
海洋汚染防止法 ： 非該当

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR･MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険･有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社

公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会編
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分で
はありませんので、取扱いには十分注意して下さい。